

日時

令和元年

10/6 (日)

10:30～15:30 (受付開始/10:10)

会場：朝日大学 1 号館
(岐阜県瑞穂市穂積1851)

講演

口腔内から全身を診る

10:30～12:00

— 歯科医師・歯科衛生士に必要な口腔内科の知識 —

近年の高齢者の増加により、口腔乾燥、味覚異常、舌痛症、感染症、摂食嚥下障害が増加しており、「口の中がおいしい」と訴える患者が多くなっている。口腔がんも増加しており、また「がん」ではないが口腔粘膜の「潜在的悪性病変」も増加している。これには、「口腔癌取り扱い規約」（日本口腔腫瘍学会編、金原出版：2010年第1版、2019年第2版）の発行も疾患の発見に関与している。血液疾患、糖尿病、膠原病などの内科疾患、天疱瘡などの皮膚科疾患などは、それぞれ口腔内で特有な症状を呈する。局所疾患と全身性疾患に由来する口腔症状は、紛らわしく、診断が難しい場合がある。本年7月に発表された厚生労働省の「人口動態統計」では、死因の1位はがん、年々上昇を続けており、老衰が3位、肺炎が5位である。いずれも口腔の関与が大きいものである。

われわれは、2010年より日本口腔内科学会を立ち上げ、「口腔を内科的に診察・診療する」ことを推進してきた。今回は、口腔の特徴、口腔の内科的診かたを主体にお話する。

講師

自治医科大学名誉教授
JCHO 東京蒲田医療センター 顧問

草間 幹夫 先生

座長 NPO法人お口の健康ネットワーク 理事長
磯崎 篤則

講師略歴

1974年3月 東京医科歯科大学歯学部卒業
1983年4月 静岡県焼津市立総合病院口腔外科医長
1997年1月 東京医科歯科大学歯学部口腔科学第二講座講師
2001年4月 自治医科大学歯科口腔科学講座教授
2014年4月 自治医科大学名誉教授、国際医療福祉大学教授
国際医療福祉大学病院歯科口腔外科センター長
2012年1月 日本口腔内科学会理事長(2016年まで)
2019年4月 JCHO東京蒲田医療センター歯科口腔外科顧問
鎌ヶ谷総合病院歯科口腔外科顧問
◆現在、日本口腔内科学会監事(前理事長)、日本口腔腫瘍学会名誉会員、
日本口腔外科学会名誉会員、日本顎顔面インプラント学会代議員など
◆専門 口腔癌の外科療法、予後因子、顎口腔領域の機能的再建手術、口腔粘膜疾患
最近、顎・口腔領域の全身への影響、歯科・口腔外科治療時の全身疾患の扱い、
周術期口腔機能管理およびインプラント治療などを通じての歯科医師会、医師会との
病診連携、また医学部、言語聴覚学科等での歯科・口腔外科の教育に努めている。



教育講演

13:00～14:20

歯周治療における宿主強化療法と「つまようじ法」



つまようじ法は、歯ブラシの動き方によって名づけられたブラッシング方法である。例えば、下顎前歯の唇側をブラッシングする場合は、歯ブラシの毛先をまず歯と歯肉の境目にあて、そこから毛先を斜め上に向けて「つまようじ」の要領で歯間部に押し込む。毛先が舌側に突き抜けるのが確認できたら、毛先を引き抜く。この往復運動を繰り返す。このような動きをするため、つまようじ法は歯間部における歯肉マッサージ効果が高いブラッシング方法といえる。本研修会では、歯周病に対する歯肉マッサージ効果の有効性を解説した上で、つまようじ法の特長・強みを「宿主（歯肉）強化」の観点から紹介する。

講師

朝日大学歯学部社会口腔保健学分野 教授 友藤 孝明

実習

14:30～15:30

「つまようじ法」
ブラッシング実習

朝日大学歯科衛生士専門学校実習室のチェアを使用して実習を行います。

- 体験実習コーナー：主につまようじ法の術者磨きを受けたことのない方向け
- スキルアップコーナー：相互実習などを行います。認定歯科衛生士取得希望の方の実技指導も受け付けます。※認定希望の方は事前にお知らせください。（認定希望者実習：定員15名）

参加費 3,000円 (お弁当付・税込)

定員 100名

定員になり次第
締め切らせてい
たきます

お申込

裏面の参加申込書に
ご記入の上、FAX
にてお申込下さい。

※認定医療機関試験を受験される場合は別途受験料が必要になります。